

CSAJ 活動 pickup

2017年1月～2017年6月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2017年1月～2017年6月

2017年1月から2017年6月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動がありましたら、ぜひご参画ください。

内容

CSAJ 働き方改革宣言	2
政策提言・意見交換	4
視察・海外出展	5
イベント	6
ビジネスマッチング	10
情報提供セミナー・説明会	13
報告書	26
実施事業	28

CSAJ 働き方改革宣言

平成 29 年 2 月 6 日 (月)

働き方改革宣言

平成 29 年 2 月 6 日
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
会長 荻原紀男

最近の企業のビジネスの在り方は、インターネットの普及や人工知能 (AI)、IoT などの技術革新の進展により多様になってきており、経済の成長力の引き上げを実現するためには、年功や雇用形態にかかわらず、成果や職務、職責に対し、報酬を支払う雇用システムへの進化が必要です。また、技術革新により時間と空間を超えた働き方が進展し、働く方個々人のライフスタイル、ライフステージで様々なニーズ (100 人 100 通りの働き方) も出ています。

年齢にかかわらず優秀な人材・技術者を集めるとともに、新たな仕事に取り組める人材の育成を行い、第 4 次産業革命をけん引していくため、次の目標を掲げ、当協会も働き方改革を積極的に進めてまいります。

1. 長時間労働の根絶

当協会において、主要な会員企業の平均所定外労働時間は月 20 時間程度と低い水準であります。さらに働き方改革を進めることで、魅力的な業界として年齢にかかわらず優秀な人材を集めていきます。

2. 多様な働き方の推進 (象徴としてのテレワークの先行)

当協会において、テレワークの導入、高齢者等を含めた柔軟な再雇用制度、公正な人事評価に役立つ IT スキルの『見える化』(iCD【i コンピテンシ ディクショナリ】の普及促進)、副業の自由化などを進めることで、会員各社が、従業員にとって働き易く、労働意欲を高める労働環境や人事制度を導入し、多様な働き方を認めることが重要と考えます。

こうした取組を進めていく象徴としてテレワークの導入を先行させていただきます。具体的には、会員各社の導入支援のため『中小企業での IT 利活用によるテレワークガイドライン (仮称)』を早急に策定するとともに、2020 年までにテレワーカー比率 30%を目指していきます。

政策提言・意見交換

平成 29 年 2 月 2 日 (木)

経済産業省との税制改正要望に係る意見交換を実施

平成 29 年 2 月 2 日 (木)、CSAJ 会議室にて、平成 30 年度税制改正要望に関する意見交換を実施しました。(参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 2 名、サイバーセキュリティ課 1 名、CSAJ 側 4 名)

はじめに、CSAJ より、先端 IT 対応・クラウド化促進税制の要望として、目的・必要性和具体的な要望内容 (IT 人材育成やセキュリティ投資、クラウドサービス利用料など、一定の IT 関連機器等の利用者向け税制優遇) について説明を行いました。

経済産業省からは情報処理振興課 課長補佐より、ソフトウェア投資 (資産) の償却期間短縮化や R&D 費用の損金算入時期の繰越し等、クラウド化促進税制の創設などの検討状況について説明があり、双方の情報を踏まえた意見交換が行われました。

平成 29 年 3 月 8 日 (水)

総務省との電子委任状に係る意見交換を実施

平成 29 年 3 月 8 日 (水)、CSAJ 会議室にて、電子委任状に係る意見交換を実施しました。(参加：総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課 3 名、CSAJ 側 9 名)

はじめに、情報通信政策課長より、電子委任状の普及の促進に関する法律案の概要について説明が行われ、その後、意見交換が行われました。総務省側からは、電子委任状の普及にあたって事業者としての課題・使い勝手などについてのヒアリングを、CSAJ 側からは、代理業務を行う士業を巻き込むことで普及につながる可能性があることなどの意見を述べました。

平成 29 年 5 月 29 日 (月)

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課と定例意見交換会を実施

平成 29 年 5 月 29 日 (月)、CSAJ 会議室にて、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課との定例意見交換会を行いました。(参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 13 名、CSAJ 側 10 名)

本意見交換会は、定期的に CSAJ 幹部 (会長・副会長等) と経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課が情報や課題等を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回経済産業省からは、税制改正要望の動きや IT 人材育成に係る動きなどについて説明がありました。CSAJ 側からは、働き方改革に係る活動や農業と ICT に係る農林水産省との活動、新たな事業の創設 (データ消去証明書発行事業) に係る検討状況などについて、説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

平成 29 年 6 月 20 日 (火)

日本商工会議所との意見交換会を実施

平成 29 年 6 月 20 日 (火)、CSAJ 会議室にて、日本商工会議所との金融 EDI の促進に向けた意見交換会が行われました。(参加：日本商工会議所側 11 名、CSAJ 側 8 名、オブザーバ参加：経済産業省 経済産業政策局 産業資金課 3 名)

はじめに、日本商工会議所側の松島先生 (一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事長) より、これまでの背景や課題などについて説明が行われ、その後、参加各社へ金融 EDI において API 連携を行う際の課題や電子化を推進するにあたってのステップ、中小企業への導入支援施策などについて、意見交換が行われました。

政策提言・意見交換

平成 29 年 6 月 28 日 (水)

経済産業省との税制改正要望に係る意見交換を実施

平成 29 年 6 月 28 日 (水)、CSAJ 会議室にて、平成 30 年度税制改正要望に関する意見交換を実施しました。(参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 3 名、サイバーセキュリティ課 1 名、CSAJ 側 11 名)

はじめに、情報処理振興課 課長補佐より、現在の税制改正要望検討状況について、とくにコネクティッドインダストリーズ促進税制を中心に説明があり、説明を踏まえて意見交換が行われました。CSAJ 側からは、従来型のモノを買うビジネスからサービスを利用するビジネスへの転換が進んでいることを踏まえ、新たな税制の形について意見を述べるとともに、参考になる取組事例があれば、経済産業省へ提供・共有させていただくことになりました。

視察・海外出展

プログラミング教育委員会 in 石狩 (プログラミング教育委員会)

期間：平成 29 年 2 月 6 日 (月) ～8 日 (水)

平成 28 年度第 3 回プログラミング教育委員会を、CSAJ 事務局のある東京・赤坂から遠く離れた北海道石狩市で開催しました。

平成 32 年 (西暦 2020 年) の初等教育におけるプログラミング教育必須化に向けて、業界としてどう取り組むか、委員会では検討しているところですが、今回はプログラミング教育というものを自治体、そして教育委員会ではどのように考えているのか、生の声を聞きたいということで石狩市を委員長、副委員長、委員の有志で訪問、意見交換を行いました。

[第 3 回プログラミング教育委員会議事録](#) (会員限定)



エグゼクティブセミナー in しまね

～IT が創る・支える・変革する「地方創生」～

期間：平成 29 年 6 月 30 日～7 月 1 日

平成 29 年 6 月 30 日 (金) ～7 月 1 日 (土) の 2 日間、CSAJ 会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in しまね～IT が創る・支える・変革する「地方創生」～」が、島根県・松江市・公益財団法人しまね産業振興財団・国立大学法人 島根大学・小松電機産業株式会社・一般財団法人 Ruby アソシエーション様のご協力をいただき、島根県で開催されました。

CSAJ からは、会長・筆頭副会長をはじめ 34 社・団体/45 名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。



イベント

平成 29 年 1 月 18 日 (水)

平成 29 年 新年賀詞交歓会

開催に先立ち、CSAJ 会長 荻原紀男より皆様への新年の挨拶とご来賓のご紹介があり、CSAJ の活動として、4 つの話題について述べました。1 点目は、会長就任当初から目指していた、日本の IT 企業の基礎を築く、日本 IT 団体連盟の設立について、2 点目は世界五大見本市である CeBit (2017 年 3 月開催、(於)ドイツ、ハノーバ) に CSAJ を通じて会員企業が複数出展すること、3 点目は平成 28 年度補正「サービス等生産性向上 IT 導入支援事業」が開始され、CSAJ 会員企業は当該事業にベンダー側として、ご支援・ご協力いただき、サービス産業の生産性向上に貢献いただきたいということ、そして最後に 2045 年の「夢」について、人口は減少するが、生産性向上によって適材適所に人員が配置されるようになり、「未来」から「今」を考え、行動を起こせる人・企業が勝者となると考えており、そんな時代の中、CSAJ は情報産業分野の一つとしてだけでなく、日本の産業を支える礎になることを誓いたい、との言葉で開会致しました。

その後、ご来賓を代表して、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいております経済産業省からは中川俊直大臣政務官に、そして特別ゲストとしてご来臨いただいた、農林水産大臣 山本有二様にそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。

中川俊直経済産業大臣政務官からは、世界のプラットフォームを CSAJ の皆様とともに作っていきたい、そして昨年 CSAJ にも働き方改革研究会が設置されたように、国内の働き方改革のために皆様のご支援、ご協力をお願いしたいと述べられ、山本有二農林水産大臣からは、IT を活用した農業管理ができる時代になった、これからも農林水産省としても皆様のご発展をお祈りしたいとの言葉を頂戴いたしました。

その後、富士通株式会社の中野克己執行役員より乾杯のご発声を頂戴いたしまして、宴が始まりました。

開会後は、ご参加いただきました皆様による、新年のご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われました。

中締めは、豊田崇克副会長による一本締めで、平成 29 年新年賀詞交歓会は閉会いたしました。

当日は、ご来賓の方々、国内外の業界関係の方々、そして CSAJ 会員企業の皆様など 566 名にご参加いただき大変盛況な会となりました。



イベント

平成 29 年 4 月 25 日 (火)

第 4 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催: 総務委員会)

平成 29 年 4 月 25 日 (火)、平成 28 年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 4 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、15 社/20 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 34 名の参加となり盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの 1 分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中で、山本副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

- 株式会社アイ電子工業
- 石渡電気株式会社
- 株式会社 ATJC
- クオリティソフト株式会社
- 株式会社コンステレーション・ソフトウェア・ジャパン
- 株式会社ナジック・アイ・サポート
- 平川社会保険労務士事務所
- 株式会社ビジネスネットコーポレーション
- 株式会社ファーストリンク
- FacePeer 株式会社
- 株式会社 Mealthy
- 株式会社ユーコム
- ユース・情報システム開発株式会社
- 一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会
- 一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会



荻原会長のご挨拶



出席幹部紹介



中締めの挨拶: 山本副会長



自社紹介をする参加企業の方々



懇親会場の様子

イベント

平成 29 年 5 月 20 日 (土)

第 6 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催: 交流委員会)

平成 29 年 5 月 20 日 (土)、第 6 回 CSAJ 会長杯親睦会 (交流委員会主催) が「千葉バーディクラブ」で開催されました。

当日は朝から晴天に恵まれ、澄みわたる碧空の下、総勢 48 名の皆さまが参加されました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員の村瀬理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。続いて参加者全員による記念撮影を行った後、OUT/IN に分かれて、それぞれの組ごとの記念撮影を行い、プレーが開始されました。

日頃鍛えた腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 6 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



イベント

平成 29 年 6 月 14 日 (水)

平成 29 年度 第 32 回定時総会・特別講演・懇親会

去る、平成 29 年 6 月 14 日、ホテルオークラにおいて第 32 回定時総会、特別講演、定時総会懇親会が開催されました。

■ 定時総会

第 32 回定時総会は、荻原紀男会長が議長となり、議案の審議に入りました。

<決議事項>

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告および決算報告承認の件

第 2 号議案 理事の選任について

<報告事項>

平成 29 年度事業計画書および収支予算書について

平成 29 年度 CSAJ 功労賞等の受賞者発表

審議の結果、第 1 号議案、第 2 号議案は原案通り承認されました。なお、出席者数は 280 名でした。

総会終了後、平成 29 年度 CSAJ 功労賞「委員会研究会等活動功績賞」の授賞式が行われました。受賞者は以下の通りです。

▼平成 29 年度「委員会研究会等活動功績賞」受賞者

- ・マイナンバー策定ワーキンググループ
 - ・ソフトウェア出荷判定・セキュリティ基準・策定ワーキンググループ
- 受賞者の皆様おめでとうございます。

■ 特別講演

総会終了後、「経営戦略としてのワークライフバランス～働き方改革の実現に向けて～」と題し、小室 淑恵 氏（株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長）による特別講演が開催されました。総勢 250 名を超える聴講者の皆様は大変熱心に聞き入り、盛況な講演会となりました。

■ 懇親会

第 32 回定時総会・特別講演が終了した後、ホテルオークラ別館地下 2F「アスコットホール」に場所を移し、第 32 回定時総会懇親会が開催されました。

はじめに、荻原紀男会長より、ご来賓のご紹介と昨年度の会員数の推移（84 社増 542 社）について報告が行われました。そして、CSAJ にはチャレンジ精神を持っている会員が多く参加しており、そのような会員企業の皆様の協力により、昨年は多くの委員会・研究会が新設され、その中で国内経済や社会発展のため、活発な議論が行われているとし、今後はさらなる発展と生産性向上のためにも、政府・企業・団体・さらには議員先生方とともに、CSAJ・業界全体の発展に寄与していきたいと述べ、開会しました。

その後ご来賓の代表として、農林水産大臣 山本有二様、衆議院議員 茂木敏充様、衆議院議員 平井卓也様、経済産業省商務情報政策局審議官 竹内芳明様にご挨拶を頂戴し、日本電気株式会社 執行役員 石井正則様による乾杯のご発声で宴が始まりました。

懇親会にはご来賓、業界関係の方々をはじめ、CSAJ 会員の皆様など 400 名を超えるご来場者を迎え、活発なご歓談が繰り広げられました。懇親会は、大変盛況のうちに中締め時間となり、山本祥之副会長による中締めで、閉幕しました。ご多忙の折、ご参加いただきました皆様におかれましては、誠にありがとうございました。



ビジネスマッチング



第 121 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけるいただくことを目的とした交流会

開催日：平成 29 年 2 月 14 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：37 社 61 名

プレゼンテーション 1：[株式会社メタテクノ](#)

発表製品分類：企業向け 企業内コピー・プリンタのコストマネジメント

発表製品名：Netaphor 社 SiteAudit

プレゼンテーション 2：[ダブルフロンティア株式会社](#)

発表製品分類：弊社が日本展開権を持つシリコンバレー IT 商材

発表製品名：Glympse・Workspot

プレゼンテーション 3：[株式会社ユビキタス](#)

発表製品分類：IoT クラウドプラットフォーム

発表製品名：dalchymia(ダルキュミア)

プレゼンテーション 4：[AOS データ株式会社](#)

発表製品分類：Cloud Backup

発表製品名：AOSBOX Business



第 122 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけるいただくことを目的とした交流会

開催日：平成 29 年 4 月 18 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：23 社 31 名

プレゼンテーション 1：[株式会社インステテュートフォーマーケティングストラテジー](#)

発表製品分類：海外出張申請システム

発表製品名：M1 (エムワン)

プレゼンテーション 2：[株式会社サイズ](#)

発表製品分類：コンテンツ管理システム CMS

発表製品名：HTML5 CMS - Web Meister 5j

プレゼンテーション 3：[ネクストレベルジャパン株式会社](#)

発表製品分類：CAST Highlight。アプリケーションのコードレベルレポートフォリオの分析による、各主要リスク、クラウド対応度、技術的負債、資産価値の分析

発表製品名：CAST Software 社 「CAST Highlight」

プレゼンテーション 4：[株式会社 eBookCloud](#)

発表製品分類：クラウド型 A S P サービス

発表製品名：クラウド型アプリ作成プラットフォーム「アプリワン」



ビジネスマッチング



第 123 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：平成 29 年 6 月 22 日 (木)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：33 社 47 名

プレゼンテーション 1：[アテイン株式会社](#)

発表製品分類：クラウド e ラーニングサービス

発表製品名：英語プレゼン力向上ソフトウェア

「Pitch Vantage (ピッチバンテージ)」

プレゼンテーション 2：[JB アドバンスト・テクノロジー株式会社](#)

発表製品分類：パッケージ製品

発表製品名：システム間のデータ連携を支援する「Qanat2.0」

プレゼンテーション 3：[コンピエールジャパン株式会社](#)

発表製品分類：オープンソース ERP パッケージ

オープンソース ERP/CRM ソフトウェアをベースとしたクラウドサービス

(販売管理/顧客管理/統合基幹システム)

発表製品名：オープンソース ERP「コンピエール(Compiere)」

クラウドサービス - IT 戦国武将シリーズ「寅之の販売管理」「虎次郎の顧客管理」

「皆社守の順風満帆スイート」他

プレゼンテーション 4：[株式会社トレイル](#)

発表製品分類：宅配業者向け動態管理クラウドサービス

発表製品名：在宅お願ひ電話を自動でかける！スマホ対応動態管理システム GPS トラッカー



第 2 回 CSAJ/JASPA/JIET 共催ビジネスマッチング商談会

(主催：ビジネスマッチング研究会)

CSAJ と JASPA (全国ソフトウェア協同組合連合会) と JIET (日本情報技術取引所) の 3 団体共催によるビジネスマッチング商談会

開催日：平成 29 年 2 月 3 日 (金)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：CSAJ 商談会 31 名、懇親会 20 名

JASPA 商談会 21 名、懇親会 18 名

JIET 商談会 62 名、懇親会 33 名



ビジネスマッチング



CSAJ/JETRO 共催 グローバル・アライアンス促進のための企業交流会

CSAJ では独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO、ジェトロ）と共催によるアジアの外資系企業とのビジネスマッチングイベントを開催しました。

ジェトロは日本経済活性化のために、日本企業の海外市場への進出を支援すると共に、外国企業誘致や日本に拠点を置く外資系企業の支援にも取り組んでいます。今回、こうした活動の一環として、アジア地域への対応力強化を目指す IT や IoT に関する事業を実施している日本企業（CSAJ 会員企業）と、日本の市場開拓を目指す在日アジア系企業とのマッチング（パートナーリング）機会を提供しました。

開催日：平成 29 年 2 月 27 日（月）14：00～17：30

会場：ジェトロ IBSC ホール

参加企業：IT & IoT 関連企業 （在日アジア系外資企業 15 社、日本企業 15 社）

プログラム：

- ・主催/共催者による開会挨拶
- ・基調講演 「グローバル・システム開発における国際協業の成功ポイント」
株式会社ワークスアプリケーションズ
- ・外資系企業各社によるピッチ
- ・面談会



情報提供セミナー・説明会

政策

第24回経営力向上セミナー (主催：経営力向上研究会)

開催日：平成29年1月25日(水)、会場：株式会社BCN「22世紀アカデミー」、
参加実績：26社30名

タイトル：チームのことだけ、考えた。

講演者：青野慶久氏(サイボウズ株式会社 代表取締役社長)

講演概略：ワークスタイル変革のためには、制度、ツール、風土の3つの要件が必要という視点から、20年の歴史の中での様々な取組や今後のビジョンについて紹介。



第25回経営力向上セミナー (主催：経営力向上研究会)

開催日：平成29年2月23日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：15社20名

タイトル：変化多様化する“複合市場”で勝ち抜く、『マトリックス営業戦略モデル』の極め

講演者：山川裕正氏(株式会社クリエイティブビジネスコンサルタンツ総合経営研究所 代表取締役)

講演概略：市場の変化や多様化をとらえる“マトリックス営業”について、実践的な営業戦略・作戦モデルの解説と実例を紹介。

第26回経営力向上セミナー (共催：経営力向上研究会 働き方改革研究会)

開催日：平成29年5月25日(木)、会場：CSAJ会議室、参加実績：26社31名

タイトル：「残業時間を減らしても、業績アップ!」～働き方改革を成功に導く3つの秘訣～

講演者1：セントワークス株式会社 ワークライフバランスコンサルタント 一之瀬幸生氏

講演概略：働き方改革で残業半減、利益150%アップを実現した具体的取り組み事例の紹介。

講演者2：セントワークス株式会社 代表取締役社長 大西徳雪氏

講演概略：ワーク・ライフバランスプロジェクトで起きた社内変化と、その過程における困難と工夫について紹介。



情報提供セミナー・説明会

政策

ソフトウェア業界向け！平成29年度税制改正説明会（主催：CSAJ）

開催日：平成29年2月3日（金）、会場：CSAJ会議室、参加実績：28社34名

タイトル1：平成29年度税制改正について（経済産業省関連）

講演者：大田 祐史 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐）

講演概略：ソフトウェアに関連する税制として、中小企業投資促進税制や中小企業経営強化税制、研究開発税制について説明。

タイトル2：平成29年度税制改正大綱の概要

講演者：税理士法人プログレス 公認会計士・税理士

講演概略：平成29年度税制改正大綱（試験研究費を中心）の解説。

法務・知財

第23回座談会（主催：法務・知財委員会）

開催日：平成29年1月24日（火）、会場：CASJ会議室、参加実績：23社26名

タイトル1：労働時間に関する法律知識とテレワーク、副業等の労務管理上の留意点

説明者：八巻 裕香 氏（社会保険労務士オフィスヤマキ 代表）

説明概略：労働時間の適正化や柔軟な働き方を推進するために必要な、労働時間や労働契約等に関するルールについて説明。

タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について

説明者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第24回座談会（主催：法務・知財委員会）

開催日：平成29年3月24日（木）、会場：CASJ会議室、参加実績：17社24名

タイトル1：まだ間に合う！改正個人情報保護法の実務対応

説明者：影島 広泰 氏（牛島法律事務所 パートナー 弁護士）

説明概略：第三者提供の際の確認・記録義務（トレーサビリティ）、海外にある第三者への提供についての本人の同意など、実務上のポイントについて説明。

タイトル2：新卒採用における募集活動、内定等の問題点や過去のトラブル、対処方法について

説明者：西田 健悟 氏（株式会社マイナビ 就職情報事業本部 東京第1営業統括部 営業3部）

説明概略：「平成29年度の卒業・修了予定者の就職・採用活動に係る取扱い等について」を基に、募集活動、内定等の問題点や過去のトラブル、対処方法等について説明。

タイトル3：最近の法務知財の旬な話題について

説明者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第25回座談会（共催：法務・知財委員会 働き方改革研究会）

開催日：平成29年6月1日（木）、会場：CASJ会議室、参加実績：25社31名

タイトル1：働き方改革に伴う、就業規則見直しの留意点

説明者：末 啓一郎 氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

説明概略：現在進められている「働き方改革」の背景、現状及び今後の課題並びにそれらを踏まえた企業として対応すべき事項、それに応じた就業規則見直しを行う場合の内容・手続きの留意点について説明。

タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について

説明者：黒住 哲理 氏、村田 和希 氏（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

情報提供セミナー・説明会

人材

第5期 iCD 活用ワークショップ実施報告会 (主催：iCD 研究会)

平成 29 年 4 月 24 日 (月)、iCD 研究会主催による「第 5 期 i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施報告会」が CSAJ 会議室にて開催されました。(参加者：20 社/23 名)

研究会では、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の協力の下、過去 5 回 iCD 活用ワークショップを実施し、今回、第 5 期の参加企業 4 社のご苦勞話なども交え、IPA からの評価もいただきながら iCD 活用のポイントが説明されました。

[2016 年度 第 5 期 iCD 活用ワークショップ実施報告書](#)



第6期 iCD 活用ワークショップ事前説明会 (主催：iCD 研究会)

平成 29 年 6 月 29 日 (木)、第 6 期となる iCD 活用ワークショップの事前説明会が CSAJ 会議室にて開催されました。

第 6 期ワークショップは、CSAJ 会員 3 社、非会員 1 社、協力団体である神奈川県情報サービス産業協会会員 1 社の計 5 社の参加申し込みがあり、事前説明会はキックオフとして実施され、参加企業代表者による各社の参加目的の発表、講師からのワークショップの内容、最終的なゴール (目的) の確認などが行われました。

なお、ワークショップは下記の日程で開催予定。

- | | | |
|-------------|---------------|-----------------------|
| 第 1 回 | 7 月 7 日 (金) | 14:00~21:00/幕張 (合宿形式) |
| 第 2 回 | 7 月 8 日 (土) | 09:00~12:00/幕張 |
| 第 3 回 | 7 月 20 日 (木) | 14:00~17:30/CSAJ |
| 第 4 回 | 8 月 9 日 (木) | 14:00~17:30/CSAJ |
| 第 5 回 | 8 月 24 日 (木) | 14:00~17:30/CSAJ |
| 第 6 回 | 9 月 14 日 (木) | 14:00~17:30/IPA |
| テイクオフミーティング | 10 月 12 日 (木) | 個別フィードバック (1 社 1 時間) |

情報提供セミナー・説明会

人材

ミャンマーIT 人材育成事業セミナー

～ラストフロンティアと呼ばれているミャンマーでの IT 人材育成事業とは～

(主催：ミャンマーIT 人材育成事業研究会)

開催日：平成 29 年 3 月 3 日（金）、会場：日本 IT ソフトウェア厚生年金基金、参加実績：18 社 19 名

タイトル1：ミャンマーの今を知る

講演者：栗林 周次 氏（株式会社ポータス 常務取締役）

講演概略：ミャンマー視察体験談、JETRO の発表するミャンマー事情、銀行系調査機関が発表するミャンマー事情の説明

タイトル2：ミャンマーの IT 人材事情

講演者：宇野 和彦 氏（株式会社スキルメイト 代表取締役）

講演概略：ミャンマーでの IT 人材育成を検討した経緯、①JICA による ODA 事業「ソフトウェアおよびネットワーク技術者育成プロジェクト」とは、②ミャンマーにおける IT 人材試験制度としての ITPEC（アジア統一試験）の実態、氏）、③ミャンマーの IT 系大学事情の説明

タイトル3：ミャンマーの IT 人材事情

講演者：宇野 和彦 氏（株式会社スキルメイト 代表取締役）

戸田 陽子 氏（公益財団法人 CIESF 事務局長）

講演概略：IT 人材育成事業への CIESF の貢献について、CIESF の活動の紹介、東南アジア地区での活動実績について、ミャンマーにおける IT 人材育成支援事業の説明、ITPEC 受験者プロフィール（2016 年 10 月の試験受験者プロフィール紹介）

タイトル4：ミャンマー人気質を知っていますか

講演者：桂川 融己 氏（ミャンマー駐在フリーランサー）

講演概略：現地人材派遣会社 Dream Job の登録人材プロフィールの説明

タイトル5：ミャンマーにおける IT 人材育成事業の可能性

講演者：宇野 和彦 氏（株式会社スキルメイト 代表取締役）

講演概略：現地での人材育成事業概要、ミャンマーで事業を開始する場合、どの分野での事業に可能性があるかについて説明

【2017 年度版】IT 企業向け新卒採用率アップセミナー！

～採用で勝ち組になる秘訣とは！～ (主催：CSAJ)

開催日：平成 29 年 3 月 6 日（月）、会場：青山オーバルビル 10F、参加実績：24 社 20 名

タイトル1：学生、企業、大学の視点から見た人材採用について

講演者：櫻井 照士 氏（人事コンサルタント）

講演概略：企業の採用戦略と大学のキャリア教育の両方の視点を踏まえて解説

タイトル2：事例紹介「採用率が UP! 私たちがワークプレイスメントを使った理由」

講演者：森 俊明 氏（株式会社リバティ・イノベーション 代表取締役 CEO、株式会社サンテック最高財務責任者）

講演概略：ワークプレイスメントを使用した人材採用の事例について紹介

情報提供セミナー・説明会

人材

近年の IT 人材傾向から学ぶ～今後必要とされる人材とは (主催：人材育成研究会)

開催日：平成 29 年 6 月 22 日（木）、会場：CASJ 会議室、参加実績：20 社 25 名

タイトル1：「IPA 人材白書 2017」概要説明

講演者：山崎 江津雄 氏（独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部 IT 人材育成企画部）

講演概略：IPA を講師に招聘し、IT 人材白書 2017 の動向を説明

タイトル2：平成 29 年度人材育成研究会の活動紹介

講演者：富田 伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役）

講演概略：平成 29 年度活動内容について紹介

国際

最先端 IT 企業も注目する「バングラデシュ IT 人材」セミナー

(主催：アジアビジネス研究会)

開催日：平成 29 年 4 月 5 日（水）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：15 社 17 名

タイトル：『バングラデシュ IT 人材について』

講演者：斎藤 浩司 氏（株式会社リンクスタッフ）

講演概略：・親日国家「バングラデシュ」のルーツ

- ・インド工科大学を擁するインドとの関係
- ・Google も注目するバングラデシュ IT 人材
- ・インフラ整備も進むバングラデシュ IT 環境
- ・実際の BUET・CUET 学生履歴書から見るバングラデシュ IT 人材
- ・バングラデシュ IT 省主催の IT 人材セミナー
- ・バングラデシュ ダッカでの BUET・CUET 学生に対する日本 IT 企業合同就職説明会
※BUET バングラデシュ工科大学 CUET チッタゴン工科大学

情報提供セミナー・説明会

技術

Android/iOS セキュアコーディング入門

～セキュアな Android/iOS アプリ実装のポイントを比較説明～

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 29 年 1 月 17 日 (火)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：17 社 33 名

タイトル 1：Android アプリのセキュアコーディング

タイトル 2：iOS アプリのセキュアコーディング

講演者：福本 郁哉 氏 (一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会/㈱SRA エンジニア)

講演概略：Android デバイス及び iOS デバイスでのアプリ開発時のセキュアコーディングについて解説

第 2 回 UX クリニック ～UX に関する悩みを専門家に無償相談～

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 29 年 2 月 1 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：2 社 8 名

メンター：安藤 幸央 氏 (株式会社エクサ コンサルティング推進部 担当課長)

／米国グーグル公認 デザインスプリントマスター (世界で 17 名)

※メンターとは、対話や助言によって本人の自発的な成長を支援する専門家であり、本企画の相談相手を指す

講演概略：専門家との対話や助言から自社において UX の向上に取り組む“きっかけ”や“発想・手法”を得る機会として頂くことを目的に、どのようなことでも UX の専門家に無償で相談できる活動『UX クリニック』を企画。「実案件の UI や UX に関するアドバイスが欲しい」や「社内での UX に関する取り組み方が知りたい」など、どのようなことでも相談することができる。自社以外メンター及び UX クリニック運営事務局のみが参加する秘匿性の高い運営で実施

AI ブームの終焉 -End of the Boom- (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 29 年 2 月 10 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：22 社 36 名

タイトル：Over the AI —AI の向こう側に—

講演者：江端 智一 氏 (職業：週末テクニカルライター)

参考連載「こぼれネット」<http://www.kobore.net/>

講演概略：25 年前の AI ブームの時に、研究チームを立ち上げ、挫折を体験した講師が、今回の AI ブームを分析。「現実と願望」が錯綜し「希望と絶望」を繰り返してきたかつての AI ブームと同様に、今回の AI ブームも終焉する——という仮説のもと、世間がこのブームに踊っている間に、どのような人工知能“技術”を持ち出して、いち早く逃げ出しておくべきかを解説

パロアルトがみた人工知能・IoT

—Palo Alto Research Center forecast AI and IoT—

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 29 年 3 月 6 日 (月)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：29 社 35 名

タイトル：邦題『パスワード AI、IoT を前に何をなすべきか?』

原題『AI and IoT are buzzwords, What should you do about it?』

講演者：大橋 晶 氏 (米パロアルト研究所 ビジネスディヴェロップメント日本担当)

講演概略：GUI、イーサネット、レーザプリンタ等を発明したパロアルト研究所におけるディープラーニング、explainable AI、機械学習を包括した人工知能関連研究事業について説明。日立製作所や JR 東日本での取り組みにみる事例紹介を行い、最後に AI、IoT 技術への投資がどのような利益をもたらすのかを解説

情報提供セミナー・説明会

技術

DevOps 解説 ～基本と本質そして実践～ (主催: 技術委員会)

開催日: 平成 29 年 3 月 13 日 (月)、会場: 市ヶ谷健保会館、参加実績: 19 社 39 名

タイトル 1: DevOps を理解するために必要な全知識

講演者: 牛尾 剛 氏 (Microsoft DevOps Evangelist)

タイトル 2: DevOps 導入実践

講演者: 荒井 裕貴 氏 (クリエーションライン株式会社 Chef, DevOps エバンジェリスト)

講演概略: DevOps の伝道師としても著名な Microsoft 牛尾 剛 氏と実際に DevOps の企業への導入サービスを事業化されているクリエーションライン社から荒井 裕貴 氏を講師に招聘し実施

パネルディスカッション:

モデレータ: 山本 祥之 氏

(CSAJ 副会長/CSAJ 技術委員会副委員長/株式会社インテリジェントウェイブ特別顧問)

パネリスト: 牛尾 剛 氏、荒井 裕貴 氏

『農業と ICT』 共催シリーズセミナー第 1 回

農業及び農業 ICT の現状と施策 (主催: 技術委員会)

開催日: 平成 29 年 4 月 11 日 (火)、会場: 農林水産省共用第三会議室 北別館 8 階 北 803、

参加実績: 40 社 50 名

タイトル 1: スマート農業の推進について

講演者: 安岡 澄人 氏 (農林水産省 大臣官房付研究調整官)

講演概略: 農業と ICT をテーマに農林水産省の取り組み施策について紹介

タイトル 2: Society5.0 の実現に向けた、農業分野におけるデータ連携について

講演者: 神成 淳司 氏 (内閣官房 情報通信技術 (IT) 総合戦略室長代理/副政府CIO)

AI とロボットは未来をどう変えるのか

～実世界で求められる知能とは?～ (主催: 人工知能 (AI) 技術研究会)

ロボットや AI の技術動向や今後の展開がどのように進むのかについて解説していただくセミナーの企画となった。

開催日: 平成 29 年 4 月 14 日 (金)、会場: CSAJ 会議室、参加実績: 36 社 42 名

講演者: 森山 和道 氏 (サイエンスライター)

講演概略: 主だった AI のロボット応用や、産業用ロボットへの応用について触れ、限定された閉じた世界だけでなく、オープンワールドで活動するための実世界知能、いわゆる「強い AI」へと繋がる可能性を探求する研究などを紹介

人工知能が変える仕事の未来 (主催: 人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日: 平成 29 年 5 月 18 日 (木)、会場: CSAJ 会議室、参加実績: 28 社 33 名

講演者: 野村 直之 氏

(メタデータ株式会社代表取締役社長、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任教員)

講演概略: AI 技術の進展が人間社会にどのような影響を及ぼすのかについて解説

情報提供セミナー・説明会

技術

機械学習の仕組みと世界での IoT 活用例 (主催: IoT 推進研究会)

開催日:平成 29 年 5 月 19 日(火)、会場:CSAJ 会議室、参加実績:15 社 16 名

タイトル1:これからの製造業に求められる戦略的 IoT データ活用と人材育成

講演者:石川 則夫 氏 (ジェイエムテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

タイトル2:人工知能関連

講演者:安井 昌男 氏 (株式会社豆蔵 IT 戦略支援事業部 執行役員)

講演概略:IoT 推進研究会の主査による人工知能関連の講演に加え、先のドイツで開催された CeBIT2017 への参加企業 JM テクノロジー社より講師を招聘して講演

『農業と ICT』 共催シリーズセミナー第 2 回

農業 ICT 市場動向と農業者ニーズ (主催:技術委員会)

開催日:平成 29 年 5 月 22 日(水)、会場:農林水産政策研究所 セミナー室、参加実績:34 社 46 名

タイトル1:スマート農業市場の現状と将来展望

講演者:中川 純一 氏 (株式会社矢野経済研究所 主任研究員)

タイトル2:IT/IoT は、農業に何をしてくれるのか?

講演者:中村 龍太 氏 (NK アグリ株式会社 千葉県印西市圃場担当)

タイトル3:農業における ISDT との取組と課題

講演者:福永 庸明 氏 (イオンアグリ創造株式会社 代表者)

講演概略:農業 ICT 市場全般の動向と農業者が ICT に対してどのようなニーズを持っているのかを具体的に紹介

げっ歯類レベル汎用人工知能を目指して (主催:人工知能(AI)技術研究会)

開催日:平成 29 年 6 月 16 日(金)、会場:CSAJ 会議室、参加実績:12 社 21 名

講演者:大澤 正彦 氏

(慶應義塾大学大学院理工学研究科 後期博士課程在学、日本学術振興会特別研究員(DC1).)

講演概略:現在世界中でヒトレベルの汎用人工知能を実現しようとする動きが活発化している。ヒトレベルの知能実現へのロードマップは様々であるが、生物の進化になぞらえた研究開発は有望視されるアプローチの 1 つである。講演者は特にマウスやラットに代表されるげっ歯類と呼ばれる生物の知能を再現することが直近の課題であると考えており、現在研究開発をすすめている。講演では「生物を内側から理解する神経科学的視点」「生物を外側から観察して理解する認知科学的視点」「生物を実際に作ろうとして構成論的に理解する人工知能的視点」を組み合わせ、議論を展開

IoT 時代の安心の確保に向けた施策 (主催:IoT 推進研究会)

開催日:平成 29 年 6 月 23 日(金)、会場:CSAJ 会議室、参加実績:17 社 19 名

タイトル1:IoT 時代のリスクの認識と安全安心の確保に向けた施策～「つながる世界の開発指針」の策定と関連施策を概説～

講演者:宮原 真次 氏 (独立行政法人情報処理推進機構 ソフトウェア高信頼化センター 調査役)

タイトル2:oT の品質確保に向けた検証・評価の要件整理の取組み～産業界/検証業界からの IoT 検証・評価の課題/ニーズの分析～

講演者:末田 信 氏 (IT 検証産業協会技術部会主査/株式会社ピラボ)

講演概略:IoT における高信頼化や品質検証・評価について講師を招いて講演

情報提供セミナー・説明会

技術<CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト>

スポンサー説明会 (主催：技術委員会 ドローン・プログラミング・コンテスト企画検討 WG)

開催日：平成 29 年 6 月 16 日 (金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：6 社 6 名

タイトル：1. CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト開催概要

2. スポンサー特典について

3. 今後のスケジュールと質疑

講演者：佐野 勝大 氏 (株式会社ユビキタス 代表取締役社長 / CSAJ 理事 / 技術委員会 委員 /
ドローン・プログラミング・コンテスト企画検討 WG リーダー)

講演概略：コンテストのスポンサー企業 12 社に対するプレイベント、コンテストに関する説明

CSAJ ドローン・プログラミング・コンテストプレイベント』開催

コンテスト開催に向けてドローンの最新動向を学べる

(主催：技術委員会 ドローン・プログラミン・コンテスト企画検討 WG)

開催日：平成 29 年 6 月 29 日 (木)、会場：TOLOT/heuristic SHINONOME

参加者：40 社 53 名

講演：

1. CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト開催概要について 主催者

2. ドローン最新市場と技術動向

春原 久徳 氏 (一般社団法人セキュアドローン協議会 会長、
ドローン・ジャパン株式会社 取締役会長)

3. スポンサーセッション

UC-win/Road UAV プラグイン 3 次元 VR 遠隔制御・センシング / モニタリング事例

春松 光男 氏 (株式会社フォーラムエイト システム開発 Group 主事補)

4. ドローンが未来を創る、空の産業革命の可能性

西脇 資哲 氏 (日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員、Drone Fund アドバイザリーボード)

5. サイドトラック

ドローンソフトウェアプログラミングワークショップ

※今回のコンテストテーマを実装するためのプログラミングテクニックを解説

1) ドローンソフトウェア入門 2) Ardupilot の概要 3) 最新技術動向 4) デモ映像

6. ドローン・デモンストレーション飛行* / 休憩

7. ネットワーキングパーティ(無料)

講演概略：東京都江東区東雲のミュージアムスペース「TOLOT/heuristic SHINONOME」にて、本年 9 月に開催する日本初のドローンのソフトウェアプログラミングコンテスト「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」の開催に先立ち、コンテストの開催概要発表と合わせて、ドローンの第一線の専門家による最新動向セミナーとデモンストレーション、ソフトウェアプログラミングのテクニックを学べる技術セミナーなど、ドローンの最新情報を学べるプレイベントを開催



情報提供セミナー・説明会

セキュリティ

「官民データ活用推進基本法」説明会 (主催：セキュリティ委員会)

セキュリティ委員会は、ITセキュリティに関連する最新動向について調査研究を行い、広く情報配信を行っている。今回は、自民党衆議院議員の「ふくだ峰之」先生を招聘して「官民データ活用推進基本法」についてご説明いただくセミナーを企画した。「官民データ活用推進基本法」は官公庁・自治体が有する Big Data を活用したアプリケーション開発を促す重要な法案であり、動向は重要である。

開催日：平成 29 年 3 月 2 日 (木)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：19 社 23 名

タイトル：官民データ活用推進基本法が日本社会を変革する

講演者：福田 峰之 氏 (自民党 IT 戦略特命委員会事務局長兼官民データ活用推進小委員長、水素社会実現委員会事務局長、国際局筆頭次長、ネットメディア局次長、神奈川第 8 選挙区支部 (横浜市青葉区・緑区) 支部長)

講演概略：昨年 12 月に議員立法としてつくられた「官民データ活用推進基本法」は、国・地方自治体・企業等がバラバラに持っているデータを標準化し、横串をさして使える社会に変えていく原動力となるものです。法律が施行され経済がどうなるのか、社会システムがどうなるのか、国民生活がどうなるのか、どのようなデジタルソサエティを見据えているのかを具体的に解説

いまさら聞けない情報セキュリティ対策 ～ソフト開発ベンダ編～

(主催：セキュリティ委員会)

開催日：平成 29 年 3 月 9 日 (木)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：22 社 22 名

タイトル：中小企業における情報セキュリティの脅威と対策

講演者：江島 将和 氏 (IPA セキュリティセンター 普及グループ 研究員)

講演概要：2016 年 11 月に改訂した「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」に基づき、新たな脅威などを踏まえて内容を刷新するとともに、経営者視点での情報セキュリティの必要性や管理者が組織的な対策を講じる際の具体的な手引きなどを追記しています。中小企業向け情報セキュリティ対策の考え方や実践方法について解説

情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

CSAJの活動を知ろう・利用しよう

～平成29年度活動方針及び研究会成果報告会～

開催日：平成29年4月19日（水）、会場：トスラブ山王会議室、参加実績：50社56名

ご挨拶：荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長／CSAJ 会長）

挨拶概略：平成29年度の活動方針を交えたご挨拶が行われました。

特別講演：大田 祐史 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐）

講演概略：「第4次産業革命の実現に向けた経済産業省のIT施策」というテーマで、IIT利活用の推進、情報セキュリティやIT導入補助金などについて、説明

委員会報告と研究会立ち上げに関する説明＜原 洋一（CSAJ 理事・事務局長）＞

発表研究会	説明者（敬称略）
人材育成研究会	富田 伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）
iCD研究会	木田 徳彦（株式会社インフォテック・サブ）
ICT教育研究会	保坂 政仁（株式会社楽堂）
メンタルヘルス研究会	CSAJ 事務局
経営力向上研究会	松倉 泉（株式会社 Harness LLP）
働き方改革研究会	村瀬 正典（株式会社バース情報科学研究所）
ソフトウェア品質向上研究会	藤井 洋一（日本ナレッジ株式会社）
クラウドビジネス研究会	松田 利夫（株式会社きっとエイエスピー）
自治体セキュリティ強化対策研究会	松田 利夫（株式会社きっとエイエスピー）
ビジネスマッチング研究会	安田 敦（株式会社バリューソフトウェア）
アジアビジネス研究会	竹原 司（株式会社デザイン・クリエイション）
人工知能（AI）技術研究会	竹原 司（株式会社デザイン・クリエイション）
データ消去証明推進研究会	加藤 貴（ワンビ株式会社）
IoT推進研究会	安井 昌男（株式会社豆蔵）
モバイルソリューション研究会	岡田 智義（日本事務器株式会社）



[配布資料](#)はwebよりご覧いただけます。（会員限定）

- ・経済産業省資料
- ・活動pickupのご紹介と研究会立ち上げについて
- ・活動pickup（2016年7月～2016年12月）
- ・研究会報告1（人材育成研究会、iCD研究会、ICT教育研究会、メンタルヘルス研究会、経営力向上研究会、働き方改革研究会、ソフトウェア品質向上研究会）
- ・研究会報告2（クラウドビジネス研究会、自治体セキュリティ強化対策研究会、ビジネスマッチング研究会、アジアビジネス研究会、人工知能（AI）技術研究会、データ消去証明推進研究会、IoT推進研究会、モバイルソリューション研究会）

ニュースリリース

平成 29 年 2 月 2 日 (木)

CEATEC JAPAN 2017 開催概要説明会開催を開催

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) の 3 団体主催による CEATEC JAPAN 2017 (会期: 2017 年 10 月 3 日から 6 日) の開催するにあたり、開催概要説明会を東京 (JIETA 会議室) と大阪 (大阪国際会議場) で開催しました。

平成 29 年 2 月 6 日 (月)

CSAJ 働き方改革宣言を公表

昨今の政府が主導する働き方改革推進会議や他団体の動向等を踏まえ、CSAJ でも働き方改革宣言を平成 29 年 2 月 6 日 (月) に経済産業省へ提出するとともに、公表しました。

大枠の宣言は以下 2 つとなります。詳細は「[働き方改革宣言](#)」よりご覧ください。

1. 長時間労働の根絶
2. 多様な働き方の推進 (象徴としてのテレワークの先行)

平成 29 年 3 月 2 日 (木)

「CEATEC JAPAN 2017 - CPS/IoT Exhibition -」出展申し込みの受付を開始!

優れた技術・サービスと新たなオープンイノベーションで社会問題を解決する未来のテクノロジーと将来のトレンドが集結する「CPS/IoT 総合展」へのシフトをより一層加速させた CSAJ、JEITA、CIAJ の 3 団体共催で開催する「CEATEC JAPAN 2017」の出展申し込みの受付が開始され、その告知を行いました。

平成 29 年 3 月 15 日 (水)

CEATEC JAPAN 2017 主催者特別企画展「IoT タウン 2017」出展申し込みの受付を開始!

IoT タウンは IoT 製品・技術を活用したサービスを紹介する企画展で、去年は(株)豆蔵 HD グループ、セコム(株)、楽天(株)/楽天技術研究所、(株)タカラトミー、(株)三菱 UFJ フィナンシャル・グループなど多数のユーザ企業が出展し、好評を博しました。今年は業界のフロントランナーによる社会課題の解決、および Society 5.0 の未来像を、より具体的に展開することを目指して企画され、その出展の告知を行いました。

平成 29 年 4 月 3 日 (月)

CSAJ 「働き方改革宣言」実現に向けた環境整備を推進

～会員向けコワーキングスペース提供と、事務局の働き方多様化について～

CSAJ は、今年 2 月 6 日に発表した「働き方改革宣言」の一環として、事務局内に会員企業向けコワーキングスペースを設置、4 月 10 日から運用を開始しました。CSAJ の「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

また、事務局においても、フリーアドレス環境、クラウド化、テレワークの導入といった環境を会員企業とともに整備しました。

ニュースリリース

平成 29 年 4 月 6 日 (木)

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」の詳細決定

「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2017 年度プログラミング・コンテストの応募要領を公開するとともに、2017 年版公式 Web サイトをオープンします。

2020 年、いよいよ日本でもプログラミング教育が小学校から必修化されることが予定されています。

世界の IT 先進国同様、誰もが「プログラミング」を学べる時代がやってきました。

そんな国内の状況を踏まえ、U-22 プログラミング・コンテストでは通常の U-22 (22 歳以下) の枠とは別に、プログラミングを学び始めた、12 歳以下の児童を対象とした、「小学生部門」を新設しました。

平成 29 年 5 月 25 日 (火)

iCD 活用企業認証制度 iCD 推進 3 団体が認証企業名を公表、 “続けられる人材育成！”

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会、特定非営利活動法人 スキル標準ユーザー協会、一般社団法人福岡県情報サービス産業協会の iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) 推進 3 団体は、iCD 活用企業認証の企業名を平成 29 年 5 月 25 日に公表いたしました。

iCD 活用企業認証では、iCD 活用の程度や成果の大きさに応じ、Blue、Silver、Gold などの 6 段階で認証するもので、独立行政法人情報処理推進機構 (略称「IPA」、東京都文京区) の支援のもと、iCD 推進 3 団体が構成された認証審査委員会において認証いたします。

iCD 活用企業認証は 2015 年 12 月からスタートし、Silver Plus 以上の企業名の公表は 2016 年 4 月に続き 2 回目となります。Blue 以上の認証企業数は第 1 回の 461 社から 822 社、Silver Plus 以上の認証企業数も第 1 回 33 社から 46 社と大幅にその数を増やしました。

また、前回 Silver 以上の認証を受けた企業が上位レベルの認証を受けるケースも多々あり、ほとんどの企業が人材育成の取り組みを継続していることがわかります。

iCD は自社戦略や事業計画成功のための人材育成を目指しており、経営トップの協力を得やすいことから、取組が継続しやすい特徴があります。この特徴は、上述の取り組み継続企業の多さで証明されています。

※認証制度の詳細及び認証企業については URL からご参照ください。

http://www.csaj.jp/NEWS/committee/icd/170525_icd.html

平成 29 年 6 月 6 日 (火)

「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」開催

～国内初となるドローンのプログラミング技術を競う～

国内初となるドローンのソフトウェアプログラミングに特化したプログラミング・コンテストである「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」を本年 9 月上旬に開催することを決定しました。

「CSAJ ドローン・プログラミング・コンテスト」を主催することにより、国内でのドローンのソフトウェアプログラミングに対する関心の活性化とその必要性を啓発し、最新の情報提供やコンテストによりそのプログラミング技術を競うことで、プログラマーやエンジニアのレベル向上を通じて新たなソフトウェア産業の創造を目指して参ります。

平成 29 年 6 月 21 日 (水)

プログラミング教育に関する情報提供サイトの公開 (プログラミング教育委員会)

プログラミング教育普及・促進のため、文部科学省、総務省をはじめとした省庁が実施する事業、取組みについてリンクを転載しています。

また、CSAJ は経済産業省、文部科学省、総務省とが連携して 29 年 2 月に設立した「未来の学びコンソーシアム」の賛同団体となり、コンソーシアムとも連携した取り組みを行っていく予定です。

報告書

『データ消去証明ガイドブック』公開 (平成 29 年 6 月 14 日)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、東京都港区赤坂）データ消去証明推進研究会（主査：田上利博（サイバートラスト株式会社））は、クライアント PC に搭載された HDD/SSD の廃棄ならびにリユースにおける適正なデータ消去を行い、電子証明書による署名の業界標準化を目指すための「データ消去証明ガイドブック」を公開しました。

はじめに

第 1 章 ガイドブック概要

第 2 章 データ消去について

第 3 章 データ消去対象の現状

第 4 章 データの特性ごとの消去の選択

第 5 章 データ消去の証明とは

第 6 章 証明書の技術と運営について

第 7 章 データ消去証明書の発行プロセス

第 8 章 まとめ

第 9 章 参考情報

実施団体・協力団体・協力者



○公開URL

以下より、ガイドブックをダウンロード可能です。ご参照下さい。

http://www.csaj.jp/NEWS/committee/datadelete/170614_datadelete_guidebook.html

平成 28 年度「メンタルヘルスに関する調査報告書」公開 (平成 29 年 4 月 26 日)

メンタルヘルス研究会（主査：金成葉子 CSAJ 理事・株式会社シーシーダブル 代表取締役社長）は、平成 28 年 12 月 2 日～平成 29 年 1 月 20 日まで CSAJ 会員企業を対象としたメンタルヘルスに関するアンケート調査を実施、その結果を報告書としてまとめ、公開しました。

1. 序文

2. 調査概要

1. 調査概要

2. アンケートチーム一覧

3. アンケート回答結果

1. 企業に関する事項

2. メンタルヘルスに関する状況について

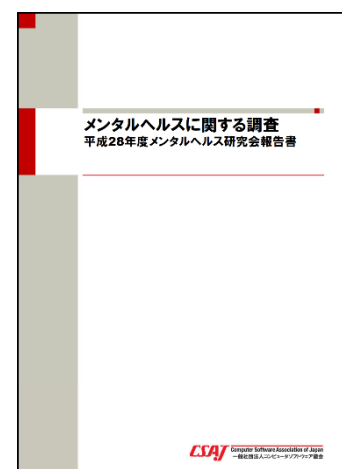
3. メンタルヘルス対策の取組状況

4. ストレスチェック義務化対応

4. 総評

5. 資料

1. アンケート用紙



報告書

平成 29 年 3 月 1 日 (水)

「平成 28 年度 コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進事業 報告書」発刊

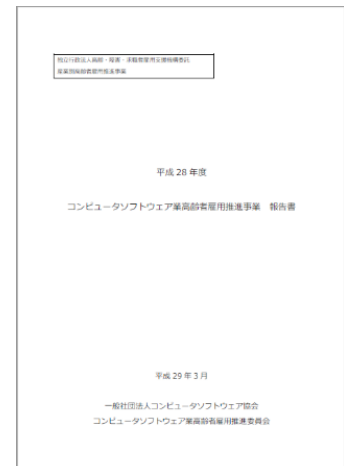
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）から産業別高齢者雇用推進事業の委託を受け、コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用推進のための現状調査等を行うため、平成 27 年 4 月に高齢者雇用推進委員会を設置いたしました。

委員会では、平成 27 年 9 月から 11 月にかけて「高齢者雇用」についてのアンケート及びヒアリング調査を行った結果を基に、平成 28 年度は「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」を平成 28 年 9 月に発刊いたしました。

そして、そのガイドラインの普及活動の一環として、平成 28 年 9 月から 12 月にかけて、東京をはじめ、千葉、大阪、福岡の 5 か所でセミナーを開催いたしました。

以上の活動結果を「平成 28 年度 コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業 報告書」としてまとめましたので、CSAJ 正会員の皆様に送付いたしました。また、報告書の PDF 版はダウンロードできるようにいたしましたのでご活用ください。

本業界向けガイドライン及び報告書が皆様の企業における高齢者雇用推進や働き方改革の一助となれば幸いです。



※「平成 28 年度 コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進事業 報告書」及び「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」は下記よりダウンロードいただけます。

- ・平成 28 年度 コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進事業 報告書
<http://www.csaj.jp/documents/activity/project/kourei/H28report.pdf>
- ・コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン
<http://www.csaj.jp/documents/activity/project/kourei/guideline.pdf>

実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会（平成 29 年 4 月～6 月）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、平成 29 年 4 月から平成 29 年 6 月に計 3 回の委員会を開催し、付与適格決定 26 社（更新 18 社、新規 7 社、合併 1 社）、個人情報事故措置 4 件を決定致しました。

2. 平成 29 年度プライバシーマーク審査事業実施状況（平成 29 年 4 月～6 月）

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	P マーク 実質増減数
平成 28 年度実績	68 社	34 社	102 社	-	52 社	4 社	18 社	20 社
平成 29 年度経過	33 社	13 社	46 社	41.8%	15 社	0 社	4 社	9 社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業

U-22プログラミング・コンテスト 2017



U-22 プログラミング・コンテストは、1980 年から経済産業省の主催により、イノベティブな IT 人材の発掘と育成を目的として開催されてきました。2014 年からは民間へ移行し、現在は、日本からイノベーションを創出する IT 業界のスター、世界でも活躍していくような若者を見つけて、応援したい、そんな思いに賛同いただいた、民間の IT・ソフトウェア業を中心としたスポンサー企業によって構成される「U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会」（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）が主催、CSAJ が運営事務局として、歴史あるプログラミング・コンテストを継承し、更なる発展を目指し、実施しています。

2017 年テーマ

夢を動かせ。自由な創造力で未来をつかめ！

「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」においては、4 月 1 日に応募要領を公開し、7 月から応募受付を開始しています。

2020 年からスタートする初等教育におけるプログラミング教育の必須化に伴い、今年から小学生部門を新設し、プログラミングを学び始めた児童でも挑戦できるような仕組みをつくりました。

また、昨今の AI 技術発展に伴い、今年からジャンルに「AI」を追加しています。

最終審査会は今年もニコニコ生放送にて放送を予定していますので、日本の未来を担う若者の活躍を是非ご覧ください。（※配信先リンクなどは公式 Web サイトで公開予定です）

U-22 プログラミング・コンテスト公式 Web サイト：<http://www.u22procon.com/>

実施事業

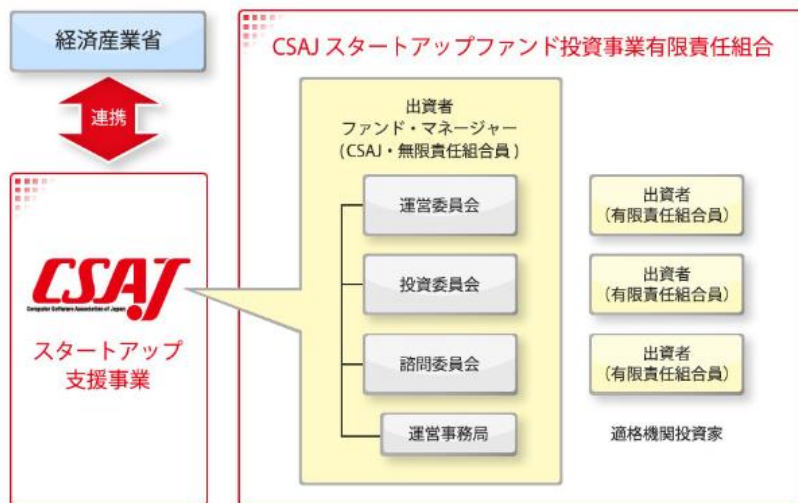
CSAJ スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、また、経済産業省におけるITベンチャー支援に関する政策とも連携しながら、今後、排出される有望なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJ スタートアップ支援事業」を2015年(平成27年)度より開始しています。

2017年は、一次募集を4月～7月、二次募集を10月～1月に行います。6月末現在では4社からのエントリーがあり8月の投資委員会での選定を受ける予定です。

エントリー累計は、55件(2015年:21件、2016年:30件、2017年:4件)となっており、2016年度までに投資委員会において今後の成長が見込まれる16社を選定いたしました。

CSAJ スタートアップ支援公式サイト <http://www.csajstartup.com/>



採択企業 16社

 Bank Invoice 株式会社	 株式会社 eBook Cloud	 株式会社プレミアムアーツ	 株式会社 Manabelle
 株式会社 Mealthy	 モビルス株式会社	 FacePeer 株式会社	 マイクロマクロリンク株式会社
 株式会社 tripla	 株式会社円簿インターネットサービス	 株式会社インサイト・プラス	 株式会社グリッドロー
 株式会社ビブリオスタイル	 ウェルネスデータ株式会社	 株式会社トレイル	 エブリセンスジャパン株式会社

2017年6月30日現在

実施事業

PSQ 認証制度事業

ソフトウェア品質セミナー「利用時の品質」特集～前編

UX 構築手法&UX システム開発の実態 (主催：ソフトウェア品質向上研究会)

昨今、ソフトウェア開発において UI 改善などを含む UX への取り組みが重要視されてきている。ソフトウェアは IoT 環境下で稼働することを前提とした仕様で検討され、ユーザー視点での品質を確認する UX への注力することは避けられない。しかし、実際の開発現場においてはどのように UX に取り組むべきか困惑している企業も少なくない。そこで実際の取組事例から開発と UX の連携の在り方を模索するセミナーを企画した。

開催日：平成 29 年 2 月 23 日 (木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：2 社 8 名

タイトル：UX 構築手法&UX システム開発の実態

講演者：篠原 建悟 氏 (株式会社 U'eyes Design) 鱗原 晴彦 氏 (株式会社 U'eyes Design)

講演概要：IoT 製品やシステムを開発していくためには、利用者の目的や特性および利用環境を考慮した高い信頼性を確保できること (= 「利用時の品質」を考慮すること) が重要となります。UX 構築を進める上では、超上流から取り組むソフトウェア設計手順が必要であり、かつ、プロセス・要求分析からソフトウェア詳細設計までシームレスにつなぐ開発手法および実装の実態を紹介。

ソフトウェア品質セミナー「利用時の品質」特集～後編

UX を実現させるシステム開発の超上流工程の取組み (主催：ソフトウェア品質向上研究会)

ユーザーの求める UX はどうあるべきか「ユーザー要求」と「UX を実現させるシステム開発」の関係を整理しながら、「何のために開発する?」「発揮すべき強みは何か?」を開発関係者がそれぞれ認識を共有することが大切である。開発現場で起きている実態 (成功事例&失敗事例) を知りながら、HCD (人間中心設計 human-centered design) と UXD (利用者体験デザイン user-experience design) を実践する際に必要な超上流工程での取組みを解説。

開催日：平成 29 年 3 月 22 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：12 社 18 名

タイトル：UX を確実に構築する、ユーザー要求をシステム開発へ繋げる方法

講演者：篠原 建悟 氏 (株式会社 U'eyes Design) 鱗原 晴彦 氏 (株式会社 U'eyes Design)

講演概要：前編のセミナーにおいて「利用時の品質」の高い UX を構築するための、超上流から取り組むソフトウェア設計手順について解説した。後編では、ソフトウェア詳細設計に受け容れられるよう、ユーザー要求を整理する「ユーザー視点で状態を整理するフロー図」の活用方法を中心に解説する。超上流工程に携わる、企画者、デザイナーに対して、ユーザー要求をどのように整理するべきか開発側から示すことで、UX の実現度を高める方法を解説する。

実施事業

PSQ 認証制度事業

早稲田大学グリーンコンピューティング研究開発センター

～RISE 調査研究～報告セミナー

主催/共催 早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
後援 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部 ソフトウェア高信頼化センター
協賛 一般社団法人IT検証産業協会 (IVIA)

ソフトウェア製品品質実態定量化および総合的品質評価枠組みの確立

早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所が、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) との協力のもと、独立行政法人情報処理推進機構からの RISE 委託研究「測定評価と分析を通じたソフトウェア製品品質の実態定量化および総合的品質評価枠組みの確立」の成果を取りまとめました。

本調査研究は、市販されているソフトウェア製品について、国際規格 ISO/IEC25000 (SQuaRE) シリーズに基づくメトリクスによってその品質を調査し定量化を図るとともに、品質評価の指標を策定するものです。具体的には、PSQ 認証取得企業を中心に本調査に協力した 21 製品を対象に、異なる品質間の関係を総合的に実証した世界初のベンチマークとなり、Waseda Software Quality Benchmark (WSQB2017) と名付けて一般に公開されました。CSAJ 及び PSQ 認証事業は本研究を引き続きテーマとしてゆく早稲田大学との連携体制と協力関係を継続し、産学連携を進めます。

この公開を記念して、成果を詳しくご紹介するセミナーを 6 月 2 日に開催。またセミナーでは、ご協力いただいた製品ご提供元からの本調査研究への参画・活用事例のご紹介、ならびに、プロジェクトエディタによる SQuaRE シリーズ活用方法の招待講演を実施。さらにパネル討論では、IoT 時代の今後のソフトウェア品質のあり方を、会場と共に議論しました。

開催日：平成 29 年 6 月 2 日 (金)

会場：早稲田大学グリーンコンピューティング研究開発センター 1 階セミナー室

プログラム：

講演 1：SQuaRE シリーズ国際標準とその利用

ICT システムの品質不良のリスクと品質向上の方策

講演者：東 基衛 氏 <早稲田大学 名誉教授>

講演 2：ソフトウェア品質実態調査報告

講演者：鷺崎 弘宜 氏 <早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所 所長>

講演 3：調査協力者の声

講演者：富士通グループ

パネルディスカッション：つながる世界のソフトウェア品質への取り組み～IoT、クラウド時代の測定と測定方法～

モデレータ：藤井 洋一 氏 <CSAJ 理事、PSQ 認証制度委員長、IVIA 会長>

パネリスト：東 基衛 氏、鷺崎 弘宜 氏、込山 俊博 氏 <日本電気株式会社 JTC1/SC7/WG6 コンビーナ>、富士通グループ パネリスト

講演 4：PSQ 認証ならびに品質実態調査のこれから

講演者：藤井 洋一 氏

ソフトウェアで世界に挑む。
そんな「スタートアップ企業」を
募集します。

起業・創業成功者が創業者の視点で
新たなスタートアップをサポート！



CSAJ スタートアップ支援事業

2017年スタートアップ企業の二次募集は10月より開始

ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて30年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 2017年04月01日～2017年07月31日（締め切りました） 二次募集 2017年10月01日～2018年01月31日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表、EXIT等までの流れ 
CSAJ ファンドからの出資	1. シード期の初期投資：300～1,000万円を想定（取得株式：5～10%を想定） 2. 成長の期待できる企業への追加投資：1,000～5,000万円を想定（取得株式比率は相談）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

U-22 プログラミング・コンテスト



U-22プログラミング・コンテスト 2017 スポンサー企業、応援団大募集！

U-22プログラミング・コンテスト 2016 は、過去最多となる 252 件の応募（参加者総数 770 名）の中で、16 作品が入賞しました。ニコニコ生放送を初配信したところ、35,000 を超える視聴者から 12,000 件を超えるコメントが飛び交い、大変盛況な中終了しました。当日は経済産業大臣賞、商務情報政策局長賞、各スポンサー企業賞などのほか、ニコニコ視聴者投票による「Best Viewers 賞」も新たに選出しました。

もちろん、2017 年も引き続き、コンテストを開催いたします！

既に世界各地でプログラミングが義務教育化されてきていますが、日本でもついに 2020 年より小学生からのプログラミング教育が必修化する動きがあります。まさに今、国内の「プログラミング」熱が高まってきている状況です。このコンテストは日本の未来を支え、将来的に世界各地で活躍するであろう若者たちを応援するコンテストです。

当コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集しています。

▼参考：2016 年の様子

[U-22 プログラミング・コンテスト 2016 実施報告書 \(会員限定\)](#) (3.4MB/PDF)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2016 最終審査会](#) (Movie)

※会員限定ファイルは閲覧に会員共通ユーザ名、パスワードが必要です。



公式 Web サイト

【スポンサー一覧】

内容/ランク	プラチナ 300 万円	ゴールド 200 万円	シルバー 100 万円	ブロンズ 50 万円	応援団(小口) 5 万円
1. 実行委員会への参加	○	○	-	-	-
2. 審査委員会への参加	○	○	-	-	-
3. 企業賞の実施	○	○	-	-	-
4. 最終審査会 CM 枠提供	○	○	-	-	-
5. 最終審査会の展示	○	○	△ ※別途有償	△ ※別途有償	△ ※別途有償
6. 表彰式・懇親会参加	3 名まで	2 名まで	2 名まで	1 名まで	-
7. パンプ・ノベルティ等の配布 ※最終審査会	○	○	○	○	○
8. 制作物への社名掲載 (Web、DM、ポスター等)	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	△ Web 社名掲載
9. 会社見学会の実施	○	○	-	-	-

CSA 動画 pickup | 2017/08/02



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に
準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 に準拠しており、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿った品質認証制度です。

これまでに 37 製品が認証を取得しています。ソフトウェア製品（パッケージ/クラウド）をお持ちの企業は、ぜひ本認証を取得し、品質をアピールしてください。



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

マイナンバー制度の利活用はこれからです！ 「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」申請製品募集中！

業務ソフトウェアとして「マイナンバー対応」を謳うなら！

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループが定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

これまでに 21 製品が認証を取得、製品パッケージや Web サイト、カタログ等で積極的なアピールを展開しています。



Welcome

CPS/IoT Exhibition

CEATEC
JAPAN
CPS/IOT EXHIBITION

2017

つながる社会、共創する未来

10月3日 火 - 10月6日 金 幕張メッセ

入場事前登録

無料

8月1日 開 OPEN

CPS/IoT の登場は新たな産業革命。データ駆動、センサー技術の向上により、文字や画像、動画だけではなく、生活、ビジネス、社会のあらゆる要素がデータ化され“情報”に変化しています。データ収集、分析、活用の範囲は広がり、業界や世界の垣根もなくなっていく中、日本が果たすべき役割も拡大。これまで「最先端 IT ・エレクトロニクス総合展」として開催してきた CEATEC JAPAN は、CPS/IoT でよりつながりが深くなる社会から、新たな未来を共に創る場として生まれ変わります。

名称 **CEATEC JAPAN 2017 (シーテック ジャパン 2017)**
(Combined Exhibition of Advanced Technologies)

会期 **2017年10月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00**

会場 **幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬 2-1**

入場 **全来場者登録入場制**

主催 **一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)**

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

----- CSAJ 荻原会長キーノートスピーチのご案内 -----

「AI が創る未来と IoT を成長させる規制改革」

日時 : 10月3日(火) 16:15～17:00

会場 : 国際会議場 2階 コンベンションホール A



CPS/IoT 社会到来にむけた主催者特別企画展示

IT・エレクトロニクスとの融合が進むモビリティ、ヘルスケア、エネルギー、農業、航空・宇宙などとの連携により見えてくる、近未来の社会全般を鳥瞰しつつ、今後のトレンドや注目テーマにスポットを当てイノベーションの成果を提案します。



※イメージです。

CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

CSAJ サテオ

CSAJ サテオとは？

2017年2月6日に発表した「CSAJ働き方改革宣言」の一環として、会員企業様向けにコワーキングスペースとしてご利用頂けるサテオを事務局内（4F）に用意しました。

CSAJの「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

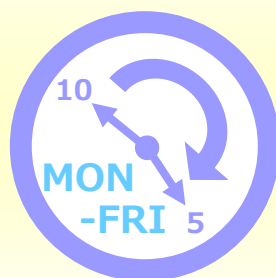
協会が主催する研究会・セミナーの空き時間のメールチェックだけでなく、各省庁を訪問する際の資料確認、遠方の会員にサテライト・オフィスとしてご活用いただく等、場所に縛られない働き方が実践できるようなスペースとして多くの会員企業のご利用を想定しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

<利用概要>

※CSAJ 会員限定

※予告なく終了する可能性があります



詳細は会員専用 Web ページをご参照ください（閲覧にはIDとパスワードが必要となります）

<http://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>



CSAJ 活動 Pickup

2017年1月～6月

2017年8月2日発行

CSAJ Computer Software Association of Japan
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440
FAX : 03-3560-8441
<http://www.csaj.jp/>